

【担当課：副首都推進局】

議 題	大阪の副首都化について
日 時	平成 29 年 4 月 13 日(木) 10 時 00 分～11 時 30 分
場 所	国立民族学博物館
出 席 者	(特別顧問・特別参与) 出口特別参与 (職員等) 副首都推進局企画担当課長、同課長代理 大阪府政策企画部企画室計画課課長補佐
論 点	民都(フィランソロピーの促進、非営利セクターの活性化)の今後の取組み方向について
主 な 意 見	準備会のメンバーから法人類型を広げる形でフィランソロピー会議に拡大していく。その手法を整理する必要。 今後、月 1 回程度の準備会で 10 月のフィランソロピー会議の開催につなげるために、それぞれの会議で何を押さえないといけないのか、スケジュール感をしっかり持つべき。 ○準備会の運営に当たっては様々な意見がでて自由な議論を誘発し、民都構想の幹を太くしていくべきである。ただし、副首都ビジョンに掲げた「第 2 の動脈」という幹からずれないこと。 今すぐということではないが、フィランソロピー会議の位置づけ(何かを決定する機関なのか、広く意見を伺う機関なのか等)についてぶれないようにする必要があるのでは。
結 論	ご意見を踏まえ、引き続き検討を進める。
資 料	(仮称)大阪フィランソロピー会議に向けた検討経緯(案) (仮称)大阪フィランソロピー会議の検討(案)
関係所属	